

上下水道事業管理者挨拶

第1回「今池水みらいセンターで発生した堺市公共下水道管破損事故の検証委員会」を開催するにあたりまして、この検証委員会の経過並びに一言ご挨拶申し上げます。

本日は、公私何かとご多忙の折、本委員会委員へのご就任をお願いいたしましたところ、ご快諾を頂きまして誠に有り難うございます。

今般、10月22日の台風21号の影響により、気象庁の堺市内観測所において観測史上最大の24時間雨量242mmの大雨が記録されました。

堺市内では、大和川・西除川の水位上昇による内水氾濫より、JR浅香駅や近隣マンションの浸水、また、西除川の護岸損傷や土砂崩れなど、大きな被害が発生しました。

その台風21号が近畿地方近傍を通過した後、10月24日の午後、大阪府所管の今池水みらいセンター内の場内道路において、路面付近で陥没が発生するとともに、堺市が管理する公共下水道管・金岡東線が閉塞し、同日午後8時頃より、閉塞箇所の上流側の堺市北区常磐町地内の複数のマンホールから下水が道路上に溢水する事案が発生しました。

事故発生の対応として、生活空間からの下水の排除を最優先に、対象区域となる市民の皆様には下水道の自粛や、民間事業者、関係する機関等のご協力、また、職員が一丸となって取組んだ結果、同地内における溢水を25日未明には解消することができました。

その後、応急復旧工事として、閉塞部分の上流と下流を別のルートで接続して、下水を流下させるための仮設の送水管路及び、圧送ポンプ設置を施工業者の協力により早期に完成運用できたことで、10月30日午前0時をもって下水道の使用自粛規制を解除いたしました。

この間、次の台風22号の影響等も考慮し、溢水に伴う被害は最小限に止めることができたところではありますが、溢水の発生から応急復旧工事完了までの間、これまで金岡東線を使用する市民の皆様には、多大な影響を及ぼすこととなりました。

このことを受け、我々堺市上下水道局としては、大阪府と連携し、今後このような事案が発生することがないように、技術的観点から金岡東線が閉塞に至った原因を究明・検証するとともに、本復旧に向けた措置、今後の適切な再発防止策を講じてまいりたいと考えています。

これらを進めるにあたっては、今般、外部有識者で構成する検証委員会を設置し、広く意見を聴取させていただき、早期に取りまとめ、それに基づき対策を講じるとともに、必要な情報を発信することといたしました。

本日を含め、3回という形での議論となりますが、委員の皆様には、大変ご多忙とは存じますが、改めて本委員会の開催趣旨をご理解いただきまして、あらゆる角度からご意見をいただけますようお願い申し上げます。開催にあたりましてのご挨拶とさせていただきます。

本日はよろしくお願いいたします。